

内村鑑三著「代表的日本人」を読もう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

この番組では、受験生も社会人も含めた効果の上がる学習方法をお話させていただいています。翌3月には29年目に入りますので、今年の1月からはお読みになると役に立つような古典と呼ばれる本を月に1回紹介させていただいています。1月は、孔子の教えを説いた「論語」でした。御承知の方も多いと思いますが、「論語」は孔子の教えを弟子たちが499章にまとめたものです。どうしたら仁徳が身に着くのかということが示された素晴らしい本ですので、ぜひお読みいただきたいと思います。

2. 今日は、2月推薦の本として内村鑑三という方が書かれた「代表的日本人」を紹介させていただきます。「代表的日本人」は、岡倉天心という方が書かれた「茶の本」や新渡戸稲造という方が書かれた「武士道」と並ぶ、日本人が英語で日本の文化や思想を西洋社会に紹介した代表的な著作です。

3. 内村鑑三(1861～1930)は、今から100年ぐらい前に活躍した方です。その著作である「代表的日本人」は、奔流のように押し寄せる西洋文化の中で、日本人としてどのような生き方をすべきかを模索した本です。内村鑑三は「我が国の国民の持つ多くの素晴らしい点、美点を見出そう、そして、我が国の国民の持つ長所、よいところを外の世界に知らしめることが大事である」として、日本人として代表的な方を5人紹介していらっしゃいます。

4. その1人目は西郷隆盛(さいごうたかもり)です。2人目は上杉鷹山(うえすぎようざん)です。3人目は、栃木県や北関東の方には非常になじみのある二宮尊徳(にのみやそんとく)です。4人目は村の先生として名前が知られている中江藤樹(なかえとうじゅ)です。5人目は仏教を広めた日蓮上人(にちれんしょうにん)です。内村鑑三は、これら5人を代表的日本人として世界に紹介してくださいました。

5. 例えば、皆様もよく御承知の、幕末から明治時代にかけて活躍した西郷隆盛については、<西郷の生活は地味で簡素でありましたが、その思想は聖者か哲学者の思想でありました。『敬天愛人(けいてんあいじん)一天を敬い人を愛する』という言葉が、西郷の人生観をよく要約しています>と紹

介しています。

6. また、<『天はあらゆる人を同一に愛する。ゆえに我々も自分を愛するように人を愛さなければならぬ』、西郷のこの言葉は「律法」と予言者の思想の集約であります。「天」には真心をこめて接しなければならず、さもなければ、その道について知ることはできません。西郷は人間の知恵を嫌い、すべての知恵は、人の心と志の誠によって得られるとみましました。>と紹介しています。

7. さらに、<『誠の世界は密室である。そのなかで強い人は、どこにあっても強い』『人の成功は自分に克つにあり、失敗は自分を愛するにある。八分どおり成功していながら、残り二分のところで失敗する人が多いのはなぜか。それは成功がみえるとともに自己愛が生じ、つつしみが消え、楽を望み、仕事を厭うから、失敗するのである』それゆえ私どもは、命懸けで人生のあらゆる危機に臨まなくてはなりません。西郷は、責任ある地位につき、なにかの行動を申し出るときには「わが命を捧げる」ということを何度も語りました。完全な自己否定が西郷の勇気の秘密であったことは、次の注目すべき言葉から明らかです。『命も要らず、名も要らず、位も要らず、金も要らず、という人こそもっとも扱いにくい人である。だが、このような人こそ、人生の困難を共にできる人物である。またこのような人こそ国家に偉大な貢献をすることのできる人物である』>と紹介しています。

8. そして、<西郷は、また自己自身をも信じる人でありました。天を信じることは、常に自己自身を信じることをも意味するからです。(西郷は)『断じて行えば鬼神もこれを避ける』と言いました。また、『機会には二種ある。求めずに訪れる機会と我々の作る機会とである。世間でふつうにいう機会は前者である。しかし真の機会は、時勢に応じ理にかなって我々の行動するときに訪れるものである。大事なときには、機会は我々が作り出さなければならない』…こう西郷は言っています。>と紹介しています。

9. それから、<「敬天」の人は、「正義」を敬し、それを実行する人にならざるをえません。「正義のひろく行われること」が西郷の文明の定義でありました。西郷にとり「正義」ほど天下に大事なものはありません。自分の命はもちろん、国家さえも、「正義」より大事ではありませんでした>と紹介しています。

10. 内村鑑三さんは、自著の「代表的日本人」の中で西郷隆盛についてこのようなことを紹介していらっしゃいます。

今日は、今から 100 年ぐらい前に書かれた「代表的日本人」を古典を読もうということで紹介させていただきました。岩波文庫にありますので、ぜひお読みください。よろしく願いいたします。